



8・9月号

令和 5年 8月 28日
横浜市立 星川 小学校
校長 いがらし あきら
五十嵐 玲
TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



「総合防災訓練」

～関東大震災から100年～

校長 五十嵐 玲

夏休みが明け、子どもたちははじける笑顔と元気いっぱいの姿が星川小学校に戻ってきました。子どもたちにとって、夏休みは、どのようなものとなったのでしょうか。きっと、夏休みにしかできないことを数多く経験し、素敵な思い出となったのではないかと思います。そして、そのような経験がこれからの学校生活によりよい影響を与えてくれるものと考えます。夏休み明けも、保護者の皆様、そして地域の皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。



さて、今年、関東大震災の発生から100年を迎える節目の年となっています。大正12年(1923年)9月1日11時58分に発生した、相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9と推定される大きな地震によって、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県で震度6を観測したほか、北海道道南から中国・四国地方にかけての広い範囲で震度5から震度1を観測し、10万棟を超える家屋が倒壊したそうです。また、発生が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し、焼失建物は21万2000棟を上回り、死者・行方不明者は、10万5000人を超える、明治以降の日本では最大の災害となりました。

また、その発生日である9月1日は「防災の日」と定められていますが、本校でも、その9月1日に総合防災訓練を行います。子どもたちの主な活動の流れは、まず、机の下にもぐり、大きな揺れがおさまった頃(3分程度を想定)、校庭への避難(一次避難)を行います。その後、教職員による校舎内の安全確認後、再び各教室へ避難(二次避難)をすることとなっています。ところで、政府の地震調査委員会は2022年1月、甚大なる被害が予想される南海トラフ地震の40年以内の発生確率を「90%程度」と発表しています。このようなことから、子どもたちだけではなく、当たり前ですが、教職員一同も、より一層、真剣にこの訓練に臨んでいきたいと思ひます。そして、子どもたちには、この訓練を通じて、防災意識をより高めるとともに大地震に対する具体的な備えや対応の仕方等を考える機会としてもらいたいと願っています。



科学技術の進歩が目覚ましい現代においても、地震の正確な予測は難しいようです。ご家庭でも、地震に対する備えや対応の仕方等に関して、ご相談されていることと思いますが、この防災の日をきっかけに、改めてお子さんと確認されてもよいのではないかと思います。

【御殿場体験学習】

来月の9月27日から28日(4年生が帰校)29日(5年生が帰校)には、4・5年生の御殿場体験学習が予定されています。活動内容には、4・5年生のトレッキングも想定していますので、計画段階から安全面については、教職員一同で十分検討し、事故のないように努めてまいります。そして、子どもたち一人ひとりにとって、充実した体験学習となるように丁寧に支援していきたく思ひます。

